

市報

とく

今月の内容

CONTENTS

北部丘陵・21世紀の新生活空間 …… 2



鳥栖中プールが完成 …… 6

あんひとこんひと・九工研所長の陣内さん …… 8

Uターン技術者職業相談会 …… 11

本行遺跡・出土品展示と記念講演 …… //

新しくなって市民プール7月1日オープン …… 12

ガッツ! サガン鳥栖「MF大森選手」 …… 13



服汚しても今日は怒られないね

J A安楽寺青年部が企画する恒例の「ドロンコ大会」が6月8日、同町の水田で行われ、町内の親子や鳥栖小の児童ら約150人が参加。田植え体験のあと、障害物競争などのゲームで体中泥まみれの子どもたちに会場からは笑いが絶えませんでした。

7

平成9年 № 833

1日号

平成14年事業完了に向け工事急ピッチ

21世紀の新生活空間

鳥栖筑紫野バイパス袖比インターの両側に広がる丘陵地に、現在進められている鳥栖北部丘陵新都市開発整備事業。昭和五十九年に指定された久留米・鳥栖テクノポリス計画の中核事業として、また二十一世紀に向けたモデル都市として県内外から大きな期待が寄せられています。今号ではこの事業の概要や進捗状況、今後の計画などを紹介します。

産・学・住調和のとれた新都市目指して

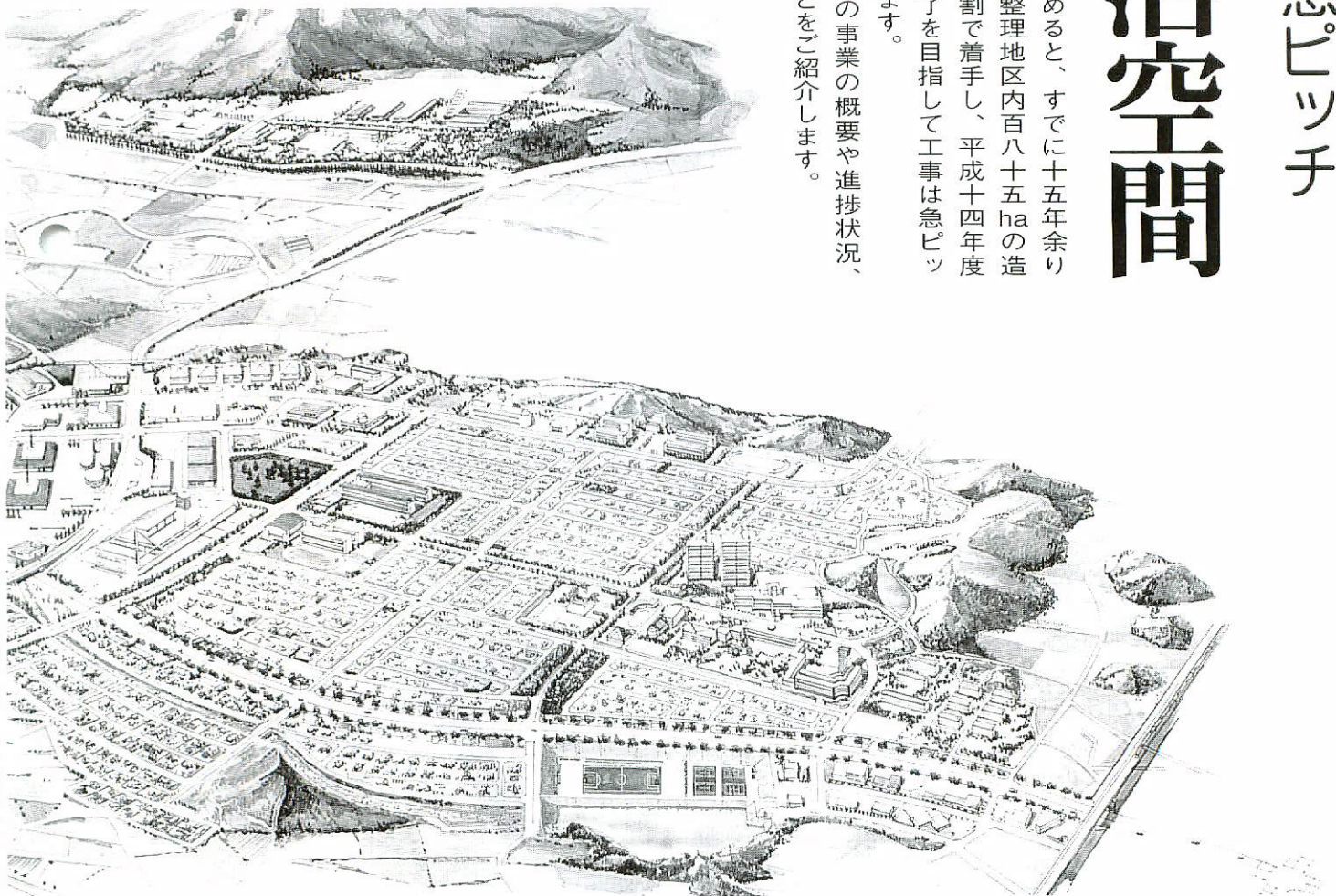
人と自然、技術、文化がふれあう人間交流都市

鳥栖市は、古くから交通の要衝として発展してきました。これは現在にまで受け継がれ、九州縦貫・横断両自動車道やJR鹿児島本線・長崎本線、国道三号・三四号が交差する九州陸上交通のクロスポイントとして、他にはない優れた交通利便性を持っています。

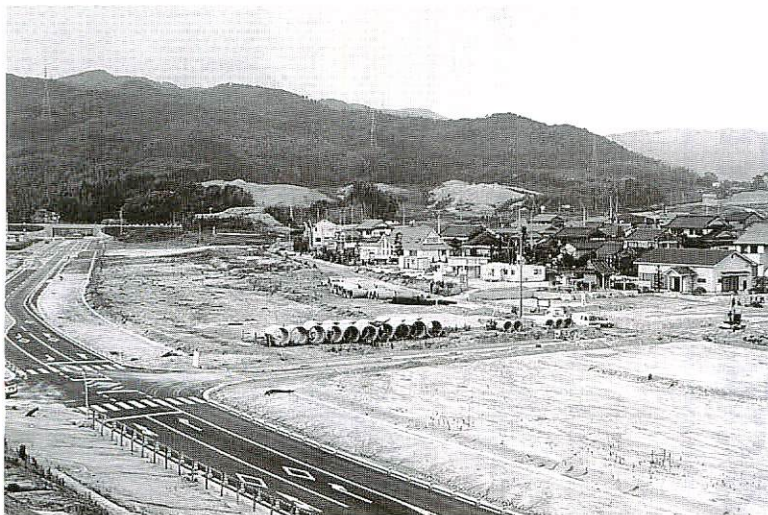
この位置的エネルギーを生

かし、これまで多くの企業が立地、九州有数の内陸工業都市となりましたが、産業の立地に比べ、道路・上下水道、情報伝達機能、研究研修機関、高等教育機関などの都市基盤の整備が遅れていました。

このため、同事業では「人と自然、技術、文化がふれあう人間交流都市」をテーマに、既存の市街地の都市機能を補完しながら、産業・学術・住宅の調和のとれたこれまでにない新しい都市を目指しています。



幹線道路の一部は無電線化



道路や住宅の建設も進み、街の姿が現れ始めた鳥栖北部丘陵

2千100戸、人口
7千人の街に

事業計画では鳥栖・基山区約二百五十haを、地権者約三百六十人が参加する地域振興整備公団施行による土地区画整理事業（鳥栖地区・百八十五ha）と一般宅地造成事業（基山区・四十ha）、都市公園事業（鳥栖地区・二十五ha）で開発。さらに土地区画整理事業百八十五haは産業ゾーン四十二・五ha、住宅ゾーン六

十ha、医療・福祉施設、高等教育施設などの誘致施設ゾーン二十・二haを計画的に配置するとともに、道路や河川、学校などの公共事業を行い、都市基盤の整備を図っていきます。

産業ゾーンは鳥栖筑紫野バイパスの東西両側に隣接。東側二十二・四haには集客施設を持った卸・小売り業など流通系企業を予定。また西側二十・一haには先端技術関連の工業系企業の誘致を予定しています。住宅ゾーンは事業地

区内の中央部で緩傾斜の丘陵地形を生かし日照・眺望などに配慮した緑豊かな居住環境を形成します。計画では独立住宅（一戸建て）千八百戸、集合住宅（マンション・アパート）三百戸の合わせて二千二百戸、人口七千人の街を目指しています。

誘致施設ゾーンは事業地区内に三か所設け、テクノポリス計画の核となる技術情報関連の支援を行うテクノセンタ

●人口計画

項目	戸数(戸)	人口(人)
独立住宅系	1,800	6,100
集合住宅	300	900
計	約2,100	約7,000

ーや県東部の中核となるような医療・福祉施設、産業施設・テクノセンタと連動して先端技術者を育成する場である高等教育施設などを誘致する計画です。

景観などに配慮し、魅力ある街並み実現

地区内道路網計画では、鳥栖筑紫野バイパスの柚比インターと国道三号を東西に結び新都市の骨格となる永吉神辺線、新都市と鳥栖市、基山町の既存市街地を南北に結ぶ鳥栖基山線の二本の幹線道路を整備。永吉神辺線の延長二・

〇kmのうち一・三kmは電線の地下埋設により無電柱化する予定です。この幹線道路と生活道路となる区画道路（住宅地は幅六m、産業用地は九

m）を連絡する四本の補助幹線道路（北部一、四号線）のうち、北部一号線の一部と北部四号線は、幅十六mのうち四・五mの歩道を両側に設け、歩道空間にゆとりを持たせるなど歩行者優先のコミュニティ道路として位置づけています。ほかにも住宅から一般道路に出る歩行者専用道路を各所に設置するほか、街路樹や街路灯も特色のあるものにして景観に十分配慮したものにします。

地区内には近隣公園二か所、児童公園四か所を配置するほか、東西には大規模公園（東公園、田代公園）を整備。公園・緑地の総面積は三十七・五haにのびます。また、南側の本川川と防災調整池は住民が水に親しめるような水辺空間として整備します。



すでに十数世帯が市外から転入



「緑豊かなすばらしい街に」
鳥栖市北部丘陵土地区画整理審議会
会長・松隈弘さん（67歳）

昭和六十年の地権者会発足から会長として事業に関わっています。当初は全面買収方式での開発という話でしたが、みんな先祖からの土地を手放すということに抵抗を感

じました。それにこれだけ大規模な開発が本当にできるのかとの不安もありました。地権者全員で会合を何度も開き、その後区画整理事業による開発で公団側と合意、地権

者をはじめ市や公団など関係者のみなさんのおかげで現在順調に造成も進み、百戸余りが移転するまでになりました。上・下水道も完備し、快適な生活ができることは、みんな喜んでいきます。これから二十一世紀に向けて緑豊かなすばらしい街にするため、住民としても庭などにはできるだけ多くの樹木や花を植えようと、声をかけているところです。まだ、学校建設や土地を手放した住民の働く場を確保するという課題はありますが、私もこれに賭けたという気持ちで頑張っていきたいと思っています。

徐々に現われはじめた新しい街の姿

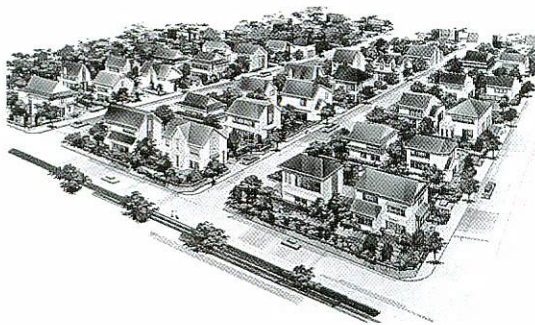
100世帯以上がすでに移転または転入完了

平成四年十一月から本格的に始まった造成工事も、八年度末までに土地区画整理事業全体の五八%に当たる百八haで工事に着手。このうち宅地整備が済んだ十四haでは、集団移転対象の百四戸のうち九十七戸が移転終了または現在住居の建設中となっています。

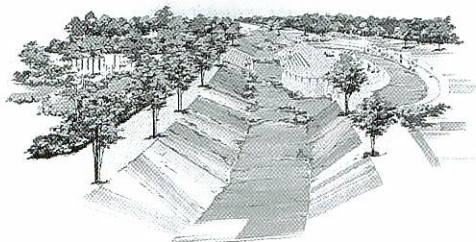
また地権者保有分の宅地を購入した十数世帯が市外から転入しています。造成工事に伴って行われている道路の建設や上・下水道管の埋設、鳥栖筑紫野バイパス袖比インターの拡幅工事なども順調に進んでおり、昨年三月には新都市の汚水を浄化センターへ送るのに必要な中継ポンプ場が完成。集団移転地区では上・下水道の利用が始まっています。

産業ゾーンに九電工が技術研究所建

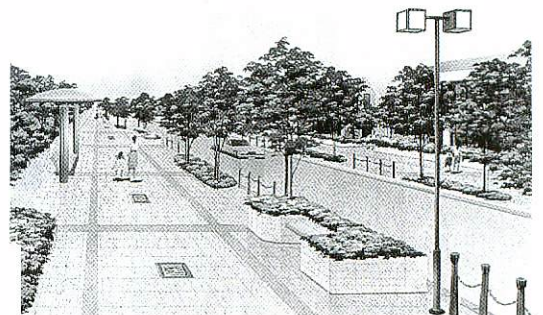
産業用地のうち、約二四・三haの面積を持つ基山地区の基山グリーンパークでは、すでに約八・六haを分譲。電気材料や形状記憶合金といった超硬製品、セラミック製品などを製造する日本タンクステン（株）が工場を建設し、昨年十月から操業を開始しています。鳥栖地区でも今年五月に（株）九電工がバイパスに隣接する産業用地三・三haに技



住宅地イメージ図



本川川水辺空間イメージ図



北部1号線コミュニティ道路イメージ図

産業用地に企業数十社が関心



「技術集積型企業の誘致を」
地域振興整備公団鳥栖都市開発事務所総務課長・外口亮二さん（41歳）

造成工事はほぼ予定通りに進み、これからは企業などへの誘致活動が本格化してきます。産業用地のうち流通系用地は卸・小売り業などを、また工業系用地には先端技術関

連の製造業などを考えています。流通系は来年度から分譲を開始する予定で、すでに数十社が関心を示しています。工業系は十一年から分譲していく予定ですが、こちらもす

術研究所を建設することを発表。今年度中に着工、来年度の完成を目指しています。同研究所は、配電・電気・情報通信・空調衛生・環境技術に關する二十一世紀に向けた新技術の研究などを行う施設。具体的には、光ファイバー伝送路の高度利用研究や情報通信システムの高度利用と電送技術の研究、耐震騒音の実験、クリンルームに関する実験、蓄熱コントロールの開発などに取り組む予定で、先端技術関連施設の誘致を図りたい関係者も期待しています。

地区内遺跡の保存問題 は全体調査終了後

開発に伴い、多くの埋蔵文化財が確認されました。昨年度までに調査対象区域の約六四％に当たる約四一haで発掘調査を実施。平成六年には柚比本村遺跡から国の重要文化財に指定された「赤漆玉細装銅剣」や「把頭飾付銅剣」が出土するなど、貴重な文化財が多数見つかっています。柚比本村遺跡墳墓については翌七年九月に県と市、公団の間で当面の保存を決めま

した。今後は毎年約十haで調査を実施し、十一年に調査を終了する予定で、この全体の調査終了を待って最終的な結論を出すこととなります。

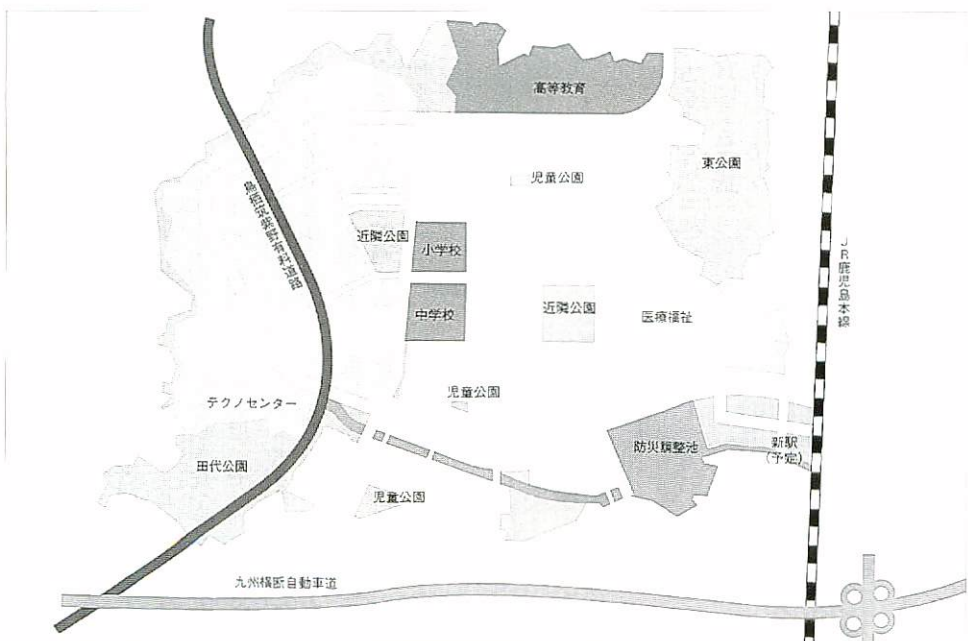
公団・県公社の宅地分譲は平成10年から

平成十四年度の事業完了に向けて急ピッチで造成工事を始め、都市基盤整備が進められています。特に早期開業予定のJR新駅が計画されている東部駅前地区と、企業誘致活動が本格化する産業用地の造成を早く予定す

でに数社から引き合いがあっています。

地域振興整備公団では、すでに事業が終了したところも含めると全国十六か所で地域の特性に合わせた新都市開発整備事業を手がけています。が、鳥栖の事業の場合は産・学・住が一つの地域にバランスよく配置されているということ、ほかの地域にない特徴ではないでしょうか。

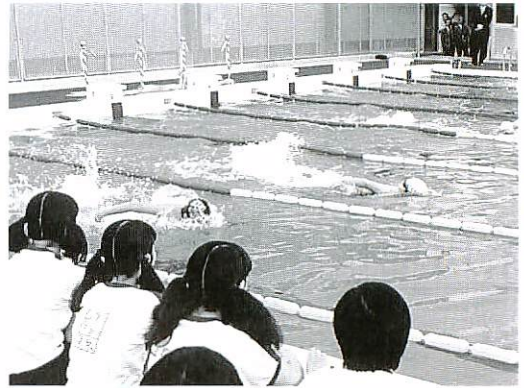
今後は、農地を手放した地権者のみなさんの働く場を確保する意味からも、将来に向けて技術集積ができるような企業を誘致していきたいと考えています。



公団と県住宅供給公社が持つ一般宅地の分譲は、整備が終了したところから順次行います。分譲時期は、公団が沿道商業地とともに十年から、公社が翌十一年からになる見込みです。

また、テクノセンター、高等教育、医療福祉の誘致施設ゾーンについては、一昨年十一月に県と市、公団などが合同で誘致促進協議会を発足させ、誘致する施設の検討に入っています。

二十一世紀の幕開けにふさわしい新しい生活空間となる鳥栖北部丘陵新都市。事業の成功は、今後の鳥栖市発展の一つの大きなカギを握っているとも言えるでしょう。



新設されたプールで初泳ぎする
鳥栖中の水泳部員

鳥栖中プール完成 快適性や衛生面に配慮

昨年十一月から建設を進めていた鳥栖中のプールが完成し五月二十六日、山下市長ら関係者約百二十人が出席して落成式が行われました。

鳥栖中グラウンドの東端に

あった従来のプールは昭和四十年に建設され、老朽化が進んでいたためグラウンドの西端に移転改築したもの。

プールはステンレス製組立パネル方式で、縦二十五

メートル、横二十五メートル、水深は、浅井町の鳥栖双葉保育園では、園児約百人が県から派遣された嘱託員のお姉さんから「道路には飛び出さない」「横断歩道を渡る」「道路では遊ばない」など交通安全についての話を聞いたり、パネルシアターや人気アニメ「忍たま乱

太郎」の交通安全映画を見たりして交通ルールなどを学びました。

このあと、園庭に設置した模擬信号機を使っての実技。園児らは田代地区の交通安全指導員さんと嘱託員のお姉さんから「手をあげて」「車が来ないか左右を確認して」「信号が青になってから渡るんだよ」といいねいに指導を受け

横十五メートルの七コース。付属棟は鉄筋コンクリート造平家建二二二平方メートルで、天井は採光のためのトップライトを取り入れた斬新なデザイン。更衣室、トイレ、用具室のほかプール全体が見渡せるようにプールサイドの中央に配置された教官室や常時水を濾過する全自動水循環装置

を備えた機械室を設け屋外用体育倉庫を併設しています。また、プールサイドには人工芝を敷き安全性を確保するとともに、センサー式の自動シャワーや男女各六個の更衣ブースを設け、快適性や衛生面に配慮しています。総事業費約一億六千七百万円。

保育所・小学校などで交通安全教室

「交通ルールしつかりと」

「手をあげて、右を見て、左を見て、また右を見て、はい横断」。市と市交通安全対策協議会が、五月から六月にか

けて市内の十五保育園・幼稚園と六小学校で「交通安全教室」を開きました。

このあと、園庭に設置した模擬信号機を使っての実技。園児らは田代地区の交通安全指導員さんと嘱託員のお姉さんから「手をあげて」「車が来ないか左右を確認して」「信号が青になってから渡るんだよ」といいねいに指導を受け

ながら道路の横断のしかたなどを教わりました。



横断歩道の渡り方などを教わる園児たち



EMぼかしづくりに取り組む参加者

図書館講座 EMぼかし作り メモ帳片手に熱心に質問

家庭からでる生ゴミを有効利用し身近な環境を守ろうと六月八日「EMぼかし作り」が市立図書館で行われました。これは図書館講座の一つで、家庭の主婦ら約二十人が

参加。EMぼかしは「有用微生物」に米ぬかや糖蜜などを混ぜ発酵させたもので、農協婦人部の仲間とぼかしを作ってきた野口幸子さん（68歳、蔵上町）

が作り方を指導しました。参加者は「EM菌はどこで手に入れるのですか」「作ったぼかしはどこに置いておくのですか」などメモ帳片手に熱心に質問。あらかじめ用意された八十kgの米ぬかに液状の糖蜜やEM菌などをスコップで混ぜ合わ

す。この日は約百kgのEMぼかしを作りました。参加者の吉松朱美さん（59歳、田代外町）は「今まではEMぼかしを購入していましたが、化成肥料と混用していたのでその効果がわかりませんでした。今度は自分でぼかしを作り、ウリで効果を確かめてみたいですね」と話します。

第36回市民体育大会

小雨の中、トラック競技で開幕

第三十六回市民体育大会の開会式が六月八日、約四百人が参加して鳥栖西中学校体育館で行われました。

第三十六回市民体育大会の開会式が六月八日、約四百人が参加して鳥栖西中学校体育館で行われました。

式典で山下市長は「鳥栖市

田嶋大君（基里中三年）が

「精一杯がんばります」と力強

く宣誓しました。この後、体育功労者表彰が行われ、二団体と八個人が表彰されまし

十時からは早速、同中学校グラウンドで陸上競技が行わ



力強く選手宣誓する藤田君

れ、選手たちは小雨の中、家族らの声援を受けながらトラックを元気に力走してしました。

市民体育大会は例年八月に行われていますが、今年も市民体育大会が十月に鳥栖市周辺で開かれるため開会式がこの日になったもので、陸上競技以外の種目は五月十八日から八月十日まで、各会場で行われます。

なお、体育功労者の被表彰

者は次のとおりです（敬称略）。

【団体】宿町球友会（代表・井辺芳夫）▽鳥栖ランナーズ（代表・諸永達朗）【個人】松雪靖弘（42歳、曾根崎町）▽福島辰巳（81歳、桜ヶ丘町）▽今村三千丈（73歳、藤木町）▽野田弘（79歳、田代新町）▽緒方満之（59歳、萱方町）▽木下英雄（44歳、原町）▽高木邦明（60歳、桜町）▽磯野弘史（43歳、原古賀町）



ごみの多さに児童らもびっくり

「だれがこんなに捨てたの？」空缶などごみ4トンを回収

れ、道路や河川、浜辺などの清掃作業が行われました。

鳥栖市でも

「環境月間がスタートした六月一日、県下一斉ふるさと美化活動が県内全域で行わ

市と市公害防止連絡協議会の呼びかけに、市民約百七十人が午前九時前から市役所に集合。競馬場から市役所までの

国道三四号沿いなど四コースに分かれて、歩道や植え込みなどに捨てられた空き缶などを歩きながら回収したほか、九千部学園の生徒約六十人が同学園前の鳥栖川久保線沿いのごみを拾い集めました。

この日は、空き缶を中心に二トトラック二台分のごみを回収しました。

第7回「あれあいの広場

点字や車いすを体験

「みんなの心ひとつにして」をテーマに、障害者とお年寄り、健常者が交流する「第十一回ふれあい広場」が六月一日、社会福祉会館周辺で開かれました。

トで開会式が行われた後、青葉園音楽クラブの器楽演奏でイベントがスタート。ゲームや大正琴の演奏、ミニ手話講習会、バザーなどが繰り広げられました。

会館内で行われた「すぐに

覚える点字指導」では、市報などの点訳奉仕をしている「葉月会」のメンバーが自分の名前の書き方を点字で指導。受講者は珍しそうに取り組んでいました。

「キャップハンディ」では、九州福祉医療専門学校の生徒ら約二十人が車いすで、同会館から虹の橋を経由して鳥栖スタジアムまでを往復。

車いすを初めて体験した伊東保子さん（同校一年、佐賀郡大和町）は「人に押しってもらうと歩道のスロープもスムーズに行けるが、一人では難しい。また、点字ブロックなどの振動が大きいのは意外でした。目の不自由な人は点字ブロックがないと困るだろうし、難しいところですね」と話します。



車いすを体験するキャップハンディの参加者

母校で講演した九工研所長

陣内 和彦さん（57歳、轟木町）



「校舎やプール、体育館など建物も見違えるようになっていたし、生徒たちは私の話を熱心に聞いてくれました。久しぶりに訪れた母校は外も

内も立派になって、嬉しかったですね」

六月十六日、鳥栖中学校の創立五十周年事業として開かれた講演会で、母校の生徒や

父母ら約八百人を前に記念講演をしました。テーマは「いろいろな物の見方と創造について」

鳥栖小、鳥栖中を経て九州大学探鉱学科（現資源工学科）を卒業後、設立されたばかり

の通産省九州工業技術試験所（現研究所）に入所。専門

は鉱物の高度利用技術で現在、所長を務めています。

講演では、中学生時代に先生から怒られたエピソードなどを交えながら「新しい研究は、先入観を持たず自分の目で確かめることが大切。『何かあるはずだ』という信念を持って取り組んでほしい」と

あんひと こんひと

59

アドバイス。また「今までは欧米の基礎技術を取り入れていたが、今からは自前で開発する時代。一人でも多くの青少年が科学の道に進み、若い力で新しいものを創ってください」と激励しました。

入所直後からシラスや風化花崗岩などの有効利用法の研究に従事。利用価値がないと考えられていたシラスは現在、軽量コンクリートや紙粘土として年間約二万t生産され、建築材料などに活用されています。

「趣味は海釣り。しかし、多忙で休日にもつばら家庭菜園での野菜作りですね」

農業 新時代

◀74▶

「営農や環境づくりの具体化へ。世代を超え村ぐるみで話し合い」

安楽寺町生産組合（古川弘己組合長）は今年四月、県の「佐賀農業・農村むらぐるみ発展運動」の地区指定を受け、地域づくりについて話し合いを進めています。

「地域営農や環境のあり方



受けています。

「現在、作業を共同化しているのは米麦などの収穫作業だけ。すべての作業を共同化

と古川さんと話し合いを全員で」

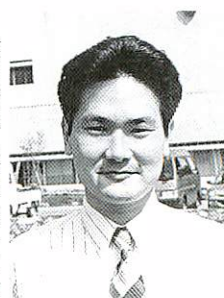
すればいいというものでもありませんが、担い手不足を考えると、共同化した方が効率的なものを取り組まねばなりません」

同町は「菜の花ロード」を整備したり「どろんこ大会」を開催するなど、特徴ある地

市役所 まつぷ

51 総務部企画課企画係

飛松 研二



企画係は、長期にわたる市政執行の指針となる「総合計画」の策定やテクノポリスの建設推進、大型プロジェクトの調整のほか周辺市町村を含む一体的な浮揚を図るための地域振興対策や広域行政などを担当。「うるおいと活力あふれ未来にはばたく交流都市」を目指し、魅力的なまちづくりを推進しています。

域づくりが盛ん。今回の指定で、町内の奥さん方が集う「たんぼぼ会」の特産品づくりや青空市の計画にも拍車がかかりそうです。

「町内の若者の中には、昔ながらの農村環境に不満を抱いている人も多いため、話し合いには、世代を超え農家・非農家の別なく参加してもらい、さまざまな角度から集落の改善点を見出し出していきたいですね」

「難工事」

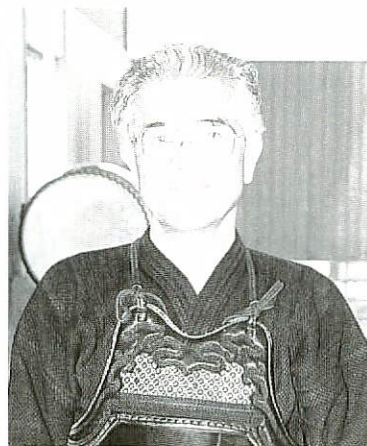
戦後間もない昭和二十三年に明専を卒業した私は、四月一日付で九州配電（現九州電力）に入社、ただちに鳥栖営業所に配属され、電気技術者としての第一歩を踏み出した。戦争中に酷使され、老朽化した電力用諸設備の補修・産業復興のための設備増強など多忙な職場だったが、作業服もなかった。夏場には、文字通り裸一貫、ふんどし一本で建柱

作業に従事する日々が続いたものだ。私は一電工としての現場体験を重ねながら、一年半後には設計を担当、ブリヂストンサイクル工場の専用配電線工事の設計にも参加した。これは高い木柱に更に継柱し、しかも鉄道越しという難工事であった。その工事の様を新聞は次のように報じている。——九州配電会社では九州で最初の難工事といわれ

二年間、子どもたちに指導を続けています。「中学二年生になると初段を受験できますが、教え子が合格してくれたいときはとても嬉しいですね」。子どもたちが素直に成長することと伝統文化を継承させることを願ひ、礼儀と身なりの指導にも力を入れました。

「私は遅くして剣道を始めたので、剣道の基本的な技術は習っていません。しかし、子どもたちに稽古をつけるかわら自身も練習を重ね、現在は七段。飛び込みメンを得意としています。」

「小中学生の入会希望者が増えるのを願っています。高齢なので無理はききませんが、元気なうちはできるだけ続けたいですね」



成富 さん (69歳、鎗田町)
はこのほど、永年、少年剣道

る多目的ホールで五人の指導者とともに約七十人の小中学生に剣道を教えています。昭和三十年、二十七年の時に剣道を始め、間もなく初段を取得。以来、四十

「私は遅くして剣道を始めたので、剣道の基本的な技術は習っていません。しかし、子どもたちに稽古をつけるかわら自身も練習を重ね、現在は七段。飛び込みメンを得意としています。」

するよう配慮。また、コミックの新刊書で配本が少ないときは、他支店から回してもらい切らさないよう努めています。休日は友人とカラオケやドライブによく出かけます。呼子では海と空の青さに感動しました。鳥栖は若者が集まる活気のある街づくりをしてほしいですね。

Viva!ヒバ
スポーツ ⑦

永年の剣道指導で表彰

礼儀と身なりに力点を

の指導に尽くした功績で、全日本剣道場連盟から表彰を受けます。

現在は鳥栖少年剣道クラブの館長として、火曜日から金曜日まで週四日、午後五時から二時間ほど市民体育館に隣接す



(株)油屋本店勤務
徳淵 和美さん

(23歳、曾根崎町)

さわやかさん (51)

「会社で見つけた」

私は本店で文具とコミックの仕入れ・販売を担当。新製品はお客様の目取りにとまるところに陳列

福祉

母子家庭等・重度障害者医療費受給資格の更新

母子家庭等医療費受給資格証と重度心身障害者医療費受給資格の有効期限は七月三十一日となっていますので、次の日程で更新の手続きをしてください。詳しくは福祉事務所社会係（☎3552）へ。

◆母子家庭等

とき 七月二十三日（水）から同二十九日（火）まで、午前九時～午後五時十五分
ところ 福祉事務所

持ってくるもの 印鑑、健康保険証、母子家庭等医療費受給資格証、母子家庭等の申立書と証明書（用紙は福祉事務所に用意しています）

◆重度心身障害者

とき 七月二十二日

パパ撮っし (101)



西川浩市さん知子さんの長女
綾ちゃん
(1歳5か月・大正町)
●パパからひと言
心のやさしい子に育ってね

(火) 鳥栖地区▽同二十三日(水) 鳥栖北地区▽同二十四日(木) 田代地区▽同二十五日(金) 基里地区▽同二十八日(月) 麓地区▽同二十九日(火) 旭地区、午前九時～午後五時十五分
ところ 福祉事務所

持ってくるもの 印鑑、身体障害者手帳または療育手帳、健康保険証、受給資格者の通帳

催し

東京都交響楽団 特別演奏会

文化事業協会では、市民文化会館の開館十五周年を記念して東京都交響楽団特別演奏会を開きます。同交響楽団はN響などと並び日本を代表するオーケストラで、鳥栖市出身の今村晃さんが主幹（オーケストラの管理運営の最高責任者）を務めています。詳しくは文化事業協会（市）市民文化会館内 ☎3645 へ。

とき 八月一日(金) 午後七時開演
ところ 市民文化会館

入場料 全指定席・前売り五千円(当日五千五百円) 前売り券は市民文化会館、油屋U-2 a店ほかで発売中
曲目 楽劇 ニューリンベルグのマイスタージンガーより第一幕への前奏曲(ワーグナー作曲) ②ピアノ協奏曲第五番(モーツァルト作曲) ③組曲「展覧会の絵」(ムソルグスキー作曲)

鳥栖の町づくりと歴史・文化講座

■筑紫氏の持城
とき 七月十一日(金) 午後七時～九時
ところ 商工会議所二階研修室
講師 高尾平良氏(鳥栖市文化財保護審議会委員)

時短に成功する5つの技法講習会

商工会議所では、仕事の効率化を図る具体的方法と展開方法を紹介する講習会を開きます。受講無料。
とき 七月二十三日(水)

スポーツ

学童泳力テスト会

とき 八月十四日(木) 午前九時
ところ 市民プール
対象 小学生の男女
種目 個人 五十mと百mの自由形・平泳ぎ・バタフライ・背泳ぎ・二百m個人メドレー▽団体 各学校男女別二百mリレー・同メドレーリレー(を除く)で、氏名・学校名・学年・距離・種目を明記した申込票を七月二十四日までに市体育協会(教育委員会社会体育課内 ☎3552)へ

ちびっ子相撲教室

教育委員会では「ちびっ子相撲教室」の参加者を募集します。
とき 七月二十一日(月) から同二十五日(金) までの五日間、午後五時半受け付け

ところ 市民相撲場
参加資格 市内の小中学生
持ってくるもの まわし、タオル(まわしが無い人は事前連絡してください。主催者で用意します)
申し込み 七月十五日までに氏名、年齢、住所、電話番号、まわしの有無を教育委員会社会体育課(☎3522・FAX ☎0042)へ

ターゲット・ボードゴルフクラブ会員

一般市民を対象にターゲット・ボードゴルフクラブの会員を募集しています。練習は次のとおり。詳しくは教育委員会社会体育課(☎3522)へ。
とき 毎週水曜日午前九時半～十一時半
ところ 市民球場横芝生広場

ご存じですか

消火器の悪質販売にご注意を

最近「法律で義務づけられた」と偽ったり、消防署員と間違えるようなまぎらわしい服装や言葉づかいで各家庭を訪問し、消火器を売りつける悪質な業者が横行しています。

ます。だまされたいよう十分ご注意ください。問い合わせは、鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部(☎2870)へ。

Uターン希望者就職面接会

県職業安定課では、地元への再就職を希望する県外在職者に求人情報提供や面接、職業相談をする就職面接会を開きます。詳しくは同課(0120-444599)へ。
■佐賀面接会
とき 八月十三日(水) 午後一時～同五時
ところ 佐賀県総合体育館

薬や医学に関する資料を

中富記念くすり博物館では、田代売薬を中心に薬や医学に関する資料を収集しています。これらの資料はほとんどが廃棄され、貴重な文化遺産が消え去ろうとしています。
とき 七月五日(土) 午前十時～午後四時
ところ 新宿NSビルイペントホール

最近「法律で義務づけられた」と偽ったり、消防署員と間違えるようなまぎらわしい服装や言葉づかいで各家庭を訪問し、消火器を売りつける悪質な業者が横行しています。また、一般の家庭で

も、薬の処方や配置帳の断片などが出てきましたら、ご一報ください。詳しくは同館・山下(☎33334)へ。

募集

働きたい女性のための ワープロ講習会

県女性就業援助センターでは、就業を希望する女性を対象に「ワープロ講習会」を開きます。

講習会では専門の講師がていねいな指導で、ワープロ三級の資格を目指します。この機会に挑戦してみませんか。

とき●九月二日から十月十四日まで(日・月と祝日は除く)の二十一日間、午前十時～午後四時

ところ●鳥栖勤労者総合福祉センター(曾根崎町)

定員●三十人

受講料●無料(ただし、教材費・検定料は実費負担)

申し込み●七月十八日から八月十二日までに商工課(☎3607)へ

職業訓練センター受講生

久留米地区職業訓練協会では各種講座を開いています。現在①学生のための夏休みワ

1プロ教室Ⅱ七月二十八日から八月二十九日まで②TWI監督者訓練Ⅱ七月二十八日から八月一日まで、①②いずれも毎週月・金曜日、などの受講生を募集しています。受講料、時間など詳しくは同協会(☎45201)へ。

久留米高専公開講座

久留米工業高等専門学校では公開講座を同校で開きます。

七月一日から受け付け、定員になり次第締め切ります。詳しくは同校庶務課(☎39304)へ。

◆中学生向け

とき●七月三十日(水)から八月一日(金)までの三日間、午前十時～午後四時

講座名●①楽しいメカ教室②マイロポット・サマースター③やさしいからくり製作教室④たのしい化学教室⑤やさしい材料教室⑥ふれあい物理学教室

定員●各十五人

受講料●三千二百円

◆一般市民・企業関係者向け

とき●①機械基礎講座Ⅱ七月二十八日(月)②メカトロ制御入門Ⅱ八月五日(火)六日(水)いずれも午前九時～

定員●十五人

受講料●五千四百円

◆中学校理科系教師向け

とき●八月二十二日(金)午後一時～同五時

親子の動く物価教室

県県民生活課ではラーメンや高級婦人服の工場を見学する「親子の物価教室」の参加者を募集します。

とき●七月二十九日(火)午前八時四十分

ところ●佐賀県庁集合行 先 宮島醤油(唐津市)ニユーリード(浜玉町)

参加資格●県内在住の小学三年生、中学三年生と保護者

定員●七十人(三十五組)

参加料●無料(集合場所までの交通費は参加者負担)

申し込み●はがきの裏面に「物価バス参加申込み」と記載し、住所、電話番号、保護者氏名、生徒氏名(学校・学年)、集合場所(県庁と記載)を明記のうえ、七月十一日までに佐賀県庁県民生活課(県庁専用840170)へ

県営住宅入居者

鳥栖土木事務所では、県営住宅の入居申し込みを随時受け付けています。五月末の空き状況は次のとおりです。詳しくは同事務所建築課

(☎4176)へ。
宿町Ⅱ一種十七戸3DK・3LDK▽鳥栖南部Ⅱ一種十戸3DK・3LDK▽麓Ⅱ一種2DK

二戸2DK▽神辺Ⅱ一種二戸2LDK▽古賀Ⅱ一種四戸3DK・3LDK▽鎗田Ⅱ一種一戸2DK

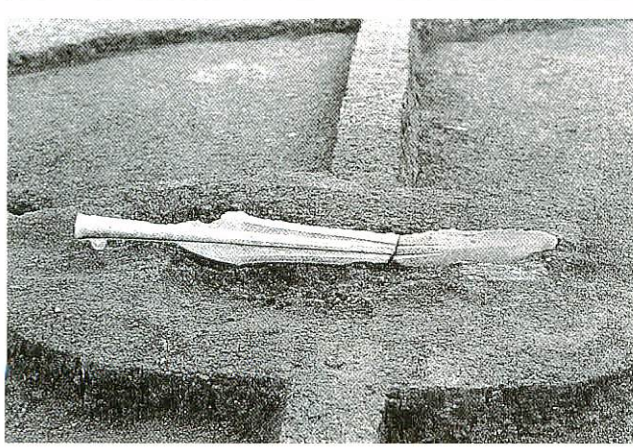
Uターン技術者職業相談会

(財)久留米・鳥栖地域技術振興センターと鳥栖、久留米、佐賀、八女の各公共職業安定所では、東京などで活躍している地元出身の技術者、研究者に対して地元企業を紹介する「Uターン技術者職業相談会」を開きます。これまでの相談会にのべ四百七十七人、千六百六十人が参加し二百四十

六人がUターン就職。それぞれの職場で中堅技術者として活躍しています。

とき●八月十四日(木)午前十一時～午後三時半

ところ●久留米リサーチセンタービル(久留米百年公園内)申し込み●事前に(財)久留米・鳥栖地域技術振興センター(☎6060)



ていねいに埋納された中広形銅矛

本行遺跡 出土品展示と 記念講演会

本行遺跡(江島町)の出土品が五月九日、県重要文化財の指定を受けたことを記念して、教育委員会では出土品の展示と記念講演を行

います。教育委員会では、工場の進出に伴い平成四年八月から同六年六月まで江島町の丘陵地にある本行遺跡約3haを調査しました。この調査で銅鐸、銅矛、銅剣などの青銅器鋳型が出土。安永田遺跡よりも早い時期から青銅器の製作が行われていたことが明らかになりました。本行遺跡からはこのほか祭に使われたと思われる

◆展示

とき●七月九日(水)から同二十一日(休)まで(月曜日休館、ただし祝日は開館)

午前九時半～午後六時

ところ●サンメッセ鳥栖一階ホール

◆記念講演

とき●七月十三日(日)午後一時半

ところ●サンメッセ鳥栖三階大会議室

講師 福岡大学文学部教授 小田富士雄氏

ガラッと新しく！ 市民プール7月1日オープン

市民プールが七月一日からオープンします。期間は八月三十一日までで、シーズン中は無休。利用時間は午前十時から午後六時までです。料金



プールサイドはブルーを基調にかわいい魚の絵なども描かれ、一層プールを楽しくしてくれそう

は下の表のとおり。

なお、市民プールは今年二月から改修工事を行いました。観覧席やトイレ、プールスライダーの補修・塗装をはじめ

レジャープールの老朽化したプールサイド床面を滑りにくい防滑性シートに全面張り替えたほか、プール槽内をアクリルウレタン塗装により改修しました。この際、レジャープール槽内にはかわいらしいカニや半魚人の絵柄を、プールサイドも明るいブルーを基調にクジラや熱帯魚の絵柄を配し、プールを一層楽しくさせます。

また昨年からの一五七対策も踏まえて、市民のみな

区	分	料	金
普通券	小・中学生	1回	100円
"	一般(高校生以上)	1回	200円
回数券	小・中学生	11枚	1,050円
"	一般(高校生以上)	11枚	2,100円
ロッカー一使用料			50円

※幼児は無料

さんに安心してプールを楽しんでもらえるように、ろ過機の取り替えや残留塩素を自動的に制御する測定器などを設置して保健衛生面に配慮して

100円商法にご注意を

悪質商法が多発

ここ数年、高齢者を狙ったSF商法(＝催眠商法)が多発。県消費生活センターには、ここ二年余りの間に二百三十五件の相談が寄せられ、このうち六十歳以上の高齢者が八割以上を占めています。

この商法は、地域を巡回し、日用品などの無料配布や百円セールというふれ込みで人を集め、巧みな話術で会場を盛り上げておいて、最後に寝具や健康器具など高額な商品を買わせるものです。

商品の無料配布や大安売りなどにつられないこと、また契約する前に、自分にとって

います。暑い夏は、ぜひ家族でプールを楽しんでください。詳しくは市民プール(☎3634)へ。

本当に必要なものかどうかを冷静に考えてみるなど消費者にも必要です。

消費者トラブルに関するご相談は消費生活センター(☎0952240999)へ。

住民票等の認証印が朱印から電子印に変わります

七月一日から電算システムの一部変更に伴い、市民課で発行している印鑑証明書や住民票などの証明印が朱印から電子印(黒印)に変わります。

電子印の使用により、市民のみなさんに迅速で正確な住民票などの発行ができるようになります。

問い合わせは市民課(☎3581)へ。

高齢者就職情報

高齢者就職相談室(市役所市民課横)では、高齢者への職業紹介や雇用相談などを行っており、現在、次の求人申し込みがあつています。詳しい仕事の内容などは同相談室(☎3556)へ。

- ◎倉庫作業員(基山町)：男18～60歳、15万3千450円
- ◎パート倉庫作業員(藤木町)：男60歳以下、時給660円
- ◎雑踏警備員(田代昌町)：男18～65歳、16万～17万5千円
- ◎パート清掃作業員(轟木町)：性別不問40～60歳、時給700～720円
- ◎タクシー乗務員(基山町)：性別不問23～65歳、17万5千円
- ◎競馬場警備員(江島町)：性別不問50～63歳、7万8千240～9万8千280円

■裁判所職員(高卒程度)募集

第1次試験は9月14日(日)。受験資格は昭和51年4月2日から同55年4月1日までに生まれた者。申し込み受付期間は7月1日～同9日(当日消印有効)。詳しくは佐賀地方裁判所事務局総務課人事第一係(☎095233161内線207)へ。

■商工業者の一日国民公庫

7月24日(木)午前10時～午後3時、鳥栖商工会議所。国民金融公庫の支店長、融資担当者が融資の相談や手続きを行います。融資限度額は4,800万円。年利3.4%。申し込みは7月16日までに同会議所(☎33121)へ。

■「飛龍窯」焼成作品募集

武雄市では9月12日から開かれる「第2回TAKEO・世界一登窯祭り」で焼成する作品を募集中。作品は陶器に限り焼き締め、施釉いずれも可。詳しくは武雄市企画情報課(☎0954239325)へ。

■柔道競技参加者募集

7月27日(日)に勤労青少年ホーム多目的ホールで開かれる市民体育大会「柔道」に参加する選手を募集します。資格は鳥栖市在住の小学生、中学生および一般男子。申し込み方法など詳しくは市体育協会事務局(教育委員会社会体育課内☎3522)へ。

■久留米コンピューターカレッジ短期講座・体験入学

短期講座は7月12日(土)、26日(土)、午前9時～午後4時。内容はウィンドウズの操作、WORD、EXEL。受講料10,000円。1日体験入学は7月24日(木)午前10時～午後3時。内容は暑中見舞いの作成。受講無料。詳しくは同カレッジ総務部(フリーダイヤル0120-336-770)へ。



攻守に活躍する大森選手

上位チームとの対戦が続き前半の大きな正念場を迎えているサガン鳥栖。今号ではレギュラーとしてすっかり定着し、常に闘志あふれるプレーで相手ゴールを奪う背番号13・大森征之選手を紹介します。

大森選手は、埼玉県浦和市出身の20歳。大宮東高校三年の時は夏の高校総体、冬の選手権大会いずれも全国大会でベスト8。高校卒業と同時にサンフレッチェ広島に入団。昨年からは鳥栖に移籍し、後半からDF（ディフェンダー）としてレギュラーを獲得、今年もMF（ミッドフィールダー）にコンバートされ、攻守に活躍しています。

現在、佐賀市のアパート（1K）で、きれいですよとは本人弁）に一人住まい。食事はチームが契約している食堂でとる若手選手も多い中、今年から自炊に。「外食になることもありますが、結構自分で作ることも多いです。ね。スーパードで肉などを買ってきては焼いたりして食べてます」。大森選手は男二人、女二人の四人兄妹の長男。「実家から遠く離れていても寂しいことはないませんが、高校までは親に甘



えていたなと今実感しています」。

練習のあとや休みの日は、もつぱら趣味の魚釣りに興じている。「ほくの釣りが好きがほかの選手にも移ったみたいで鈴木選手や松田選手などと、一緒に春振山の城原川や北山ダムに車で出かけます。佐賀にはきれいな川がいっぱいあるし、ほくにはここが合ってるみたいですよ」とあどけない笑顔。また、今年にはレストランなどで食事している子どもにサインを頼まれたり、コインランドリーでは、おじさんから突然「がんばれよ!」と励まされたり、活躍に合わせて知名度もぐんとアップしています。

「試合では、自分のポジションが一番重要なところだと思って、試合の組み立てなどを常に考えています。また基本に忠実に心がけてますが、これが一番難しいことなんですよ。何年後の目標というものはありませんが、一年でも長くサッカーをやりたいし、いい選手になるために練習を一生懸命にしてください」とあどけなさが残る顔に、時折プロ選手としての顔をのぞかせます。

中世山城と筑紫氏

Vol.61 筑紫家家臣団 その一

今回から筑紫氏の家臣について紹介します。前回見たように筑紫家の家臣については「加藤主計頭へ預けノ者その他列名」や「筑紫家覚書」などに記されています。

この家臣名は、筑紫家にとつて控えとして記載されているもので、名前と同時にある程度本人の事跡が語られています。当時の様子を知らずの手がかりにもなりますので、合わせて紹介します。

有久新左衛門、有久傳三郎、赤星長左衛門（親伊豆ハ、果栗塙）、赤星平左衛門（元長門國戸板殿一門・親文果）、赤星伊豆守、青木太

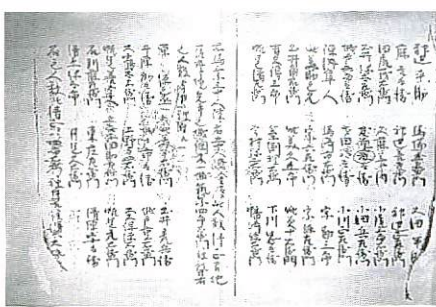
郎左衛門（仕出）、阿波新兵衛、阿波二郎兵衛、池辺九七、池辺彦左衛門、井上右右衛門、井上助左衛門、井上甚太郎、今村左左衛門

（磨之筋）、今村孫三衛門、飯田右衛門、石嶋喜介（元五条氏・矢部七郎左衛門弟）、石川藤左衛門（元

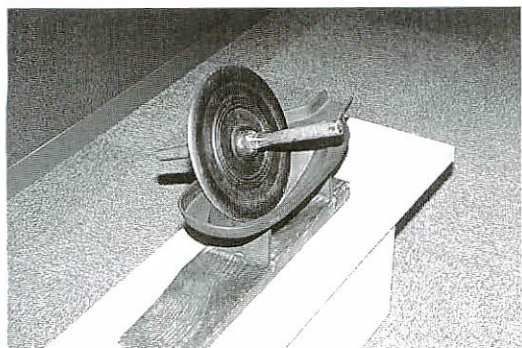
矢部七郎左衛門家来、石川才兵衛、石橋喜介、稲富久左衛門、上野与四右衛門（親伊賀、梅野七右衛門、

牛原九右衛門、牛原加兵衛、牛嶋進之丞、大窪源左衛門、大窪九郎右衛門、鬼塚平左衛門、大田半左衛門、大田半助、尾中助兵衛、緒方三左衛門、緒方三郎兵衛、緒方

作右衛門、緒方市丞、緒方新丞、緒方与兵衛、緒方久二郎、小田喜兵衛（傳左衛門兄・元四郎衛門家来）、小田傳左衛門（喜兵衛弟）、小田兵左衛門、大石長兵衛、大石民部左衛門、大石弥左衛門、大曲与三左衛門、大鶴太衛門。



家臣名が記載されている「筑紫家覚書」



生薬を粉末にするのに用いた薬研（中富記念くすり博物館収蔵）

薬研はテレビの時代劇でもよく目にするお馴染みの道具です。平安時代末期ごろから使用されていたといわれ、田代完薬（現在の鳥栖市東半分と基山町にわたる

一帯で江戸時代中期に発生）だけでなく、富山・近江・大和など日本全国で使われています。

製薬工程の中の「擦る」ときに使用され、荒切りし乾燥させた生薬をさらに粉末にするためのものです。薬種をV字型の溝（通称Vフ

ネ）に入れ、臼盤（同Vコマ）をさしらせるように転がしながらすりつぶします。薬研は普通鉄製ですが、金属を嫌う生薬には木製のものも使用しました。

薬研の溝のV字型から薬研濠や薬研彫、円盤の形から薬研馬鋏と名づけられたといわれています。室町時代には畠山政長が吉光という銘の刀で薬研を突き通したことから、その刀を薬研通吉光と名づけたという話も残っています。

消えゆく民具

【売薬用具編】

VOL.89 ●薬研（やげん）

農業の近代化を支えた圃場整備

農業の生産性を高めるため農地を整備しようと昭和三十三年四月、市土地改良区が設立されました。さつそく翌年から鳥栖第一地区（今泉、藤木・轟木の一部）の平坦な水田一・一三・八で圃場整備（当時は区画整理と言った）が始まっています。

今とは異なり、当時はまだ主食の米が不足していた時代。一年でも米作りを休むことは農家にとって大変勇気のあることでした。圃場整備の大きな目的は農業機械を導入



土砂の運搬に馬車を使っていた圃場整備工事（昭和35年ごろ）

し農作業を効率化することで、鳥栖市にとってのそれは、同時に河川や水路の改修を行い、地域住民が長年苦しみ続けた日本住血吸虫病の中間宿主・宮入貝を撲滅することでもありました。

市や土地改良区では、このほか「分散した田を一か所に集団化できる」「集団化により作物、水利などの管理が容易になる」「隣地との境界が判然とする」などの特長をあげ、圃場整備を推進。鳥栖第一地区の工事は昭和三十六年

度に完了し、市内で初めて整然とした南北五十、六十区画の水田が現れました。翌年度からは鳥栖第二地区（藤木の一部から真木・高田・安楽寺の一部）百七十二区画で工事が始まっています。ひと口に圃場整備と言っ

てもその苦労は並大抵ではありません。着工前には工事に必要な基礎調査はもちろん、換地に必要な一筆、一筆の地力、形状、通作距離など綿密な調査が何日間にもわたって行われます。工事が終わると水田の形状はもろろ面積や地権者も以前とは変わり、新しい水田を地権者に配分する換地が必要になります。先に調査した条件に沿って、新たな水田を振り分ける協議が農家と何日間も続けられました。徹夜も珍しくはありません。こうして、整然とした姿に生まれ変わった水田は個々の農家に割り振られていきま

した。工事も苦勞が伴いました。今日の土木工事では当然のブルドーザー、ダンプ、バックホーなどの機械も当時はまだ普及していません。土砂の運搬などには馬車やトロツコが使われ、農家も借りだされての大作業でした。

その後、昭和四十年から四十五年にかけては儀徳・下野・三島の三百七十区画、また四十二年からは永吉から水屋にいたる国道三号と秋光川に

は生まれた永吉・幡崎・姬方・飯田及び酒井西・東などの三百四十二区画で、九州縦貫自動車道の工事と並行して進められています。平坦部の大半で整備を終えた昭和五十五年からは養父や柚比の山麓部の整備に着手。その後、河内や立石地区などでも進められ、現在では市内の水田約千七百のうちの約千三百で整備を終えています。

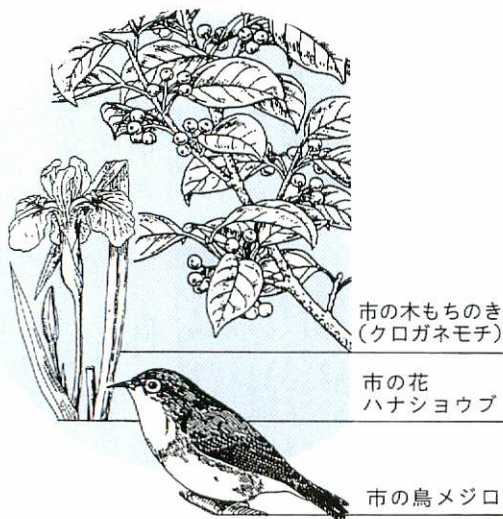
これらによってトラクター、コンバインなどの機械化や共同乾燥施設の共同利用で経営規模の拡大や協業化が進み、農業生産性が飛躍的に向上したことは言うまでもありません。

参考「鳥栖市史」「市土地改良区三〇周年記念誌」

DISCOVER TOSU

ふるさと再発見

Vol. 22



市の木もちのき
(クログネモチ)

市の花
ハナショウブ

市の鳥メジロ

人	平成9年6月1日現在		()内は前月比
総数	男	女	世帯数
57,420	27,574	29,846	18,762
(-11)	(+1)	(-12)	(+10)

7月の納税

固定資産税(2期分) 納期限●7月31日
国民健康保険税(2期分)

水道の修繕

鳥栖市管工事協同組合 ☎84-2500
●水道の修繕はすべて上記へお申し込みください。

「市報とす」は再生紙を利用しています